17 乾式クラッチカバーキット TYPE-R（油圧式） 取扱説明書

製品番号	02-02-0084（バフ研磨・クリア塗装） 02-02-0033（シルバー塗装）

適応車種		
	Monkey/Gorilla(6V)	(Z50J-1300017 ～ 1805927)
	Monkey(12V)	(Z50J-2000001 ～) (AB27-1000001 ～ 1899999)
	Monkey(FI)	(AB27-1900001 ～)
	Gorilla(12V)	(Z50J-2500001 ～) (AB27-1000001 ～ 1899999)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎当製品は、上記適応車種の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
（説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。）
◎当製品の取り付けには、別売りの弊社乾式クラッチインナーキット(02-02-0176又は02-02-0177)の同時装着が必要です。カバー単体での取り付けは、出来ませんのでご注意下さい。
◎当製品には、L. マスターシリンダーは付属しておりませんので、別途クラッチマスターシリンダーASSY.(02-02-2103)が必要です。
◎当製品を取り付ける場合、ノーマルのウインカースイッチは使用出来ません。別途使用する車種に見合ったウインカースイッチをご用意下さい。
◎ Monkey/Gorilla(Z50J-1300017 ～ 1600007)に取り付ける場合、クラッチマスターシリンダーの取り付けが出来ない為、ハンドルパイプを交換して下さい。
◎分解作業は上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを必ず参照し確実に行って下さい。
◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。
取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要となる工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。
◎オイルクーラーキットの取り付けには別売のオイルクーラー取り出し口(07-07-0152)、(07-07-0161)等が必要です。
又、ノーマルマフラー及びストリートアップマフラーの取り付けは出来ません。
◎フリクションディスク等に水分が付着すると腐食し、クラッチの機能を果たさなくなります。雨天走行、洗車等の後には、フリクションディスク、クラッチプレート等に付着した水分を必ず拭き取り、十分に乾燥させて下さい。また、梅雨等の湿気の多い時期の保管は、フリクションディスク、クラッチプレート等の貼り付きを防ぐためクラッチを切って保管して下さい。
◎クラッチを切った状態での空ぶかし等で過度に回転数を上げないで下さい。クラッチ部品の損傷に繋がりトラブルの原因となります。
◎各推奨パーツ、別途必要部品につきましては、弊社パーツカタログ又はホームページをご参照下さい。(http://www.takegawa.co.jp)

～特　徴～

・R. クランクケースカバーは湿式用と乾式用を共通化させる事で、それぞれのクラッチへの変更時に、R. クランクケースカバーを交換せずに行なえます。
又、ワイヤー式と油圧式はクラッチカバー及び、関連部品を交換するだけで容易に変更を行う事が出来ます。
・ペーパータイプのオイルフィルターを採用しエンジンオイルのろ過性能を向上させ、オイル量点検用にオイル窓を採用しております。
・クラッチリリース方式を油圧にする事により、クラッチ操作のレスポンスが良くなり、操作性が向上します。
・レリーズピストンの仕様を一新する事で従来の弊社製油圧クラッチよりも軽いクラッチレバー操作を可能にしています。
・R. クランクケースカバーはアルミダイカスト製でバフ研磨後クリア塗装又はシルバー塗装を施しています。又、クラッチカバーはアルミ材を削り出し、アルマイト処理を施しています。
・クラッチカバーにベンチレーションホールを設ける事により冷却効果を高めています。
乾式特有の騒音が気になる場合は、オプショナルパーツのラバーキャップ（キャップセット:02-02-0079）を使用する事で騒音を軽減する事が出来ます。

⚠ 注意　この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。（法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
■作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジン及びマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。）
■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。（部品の脱落の原因となります。）

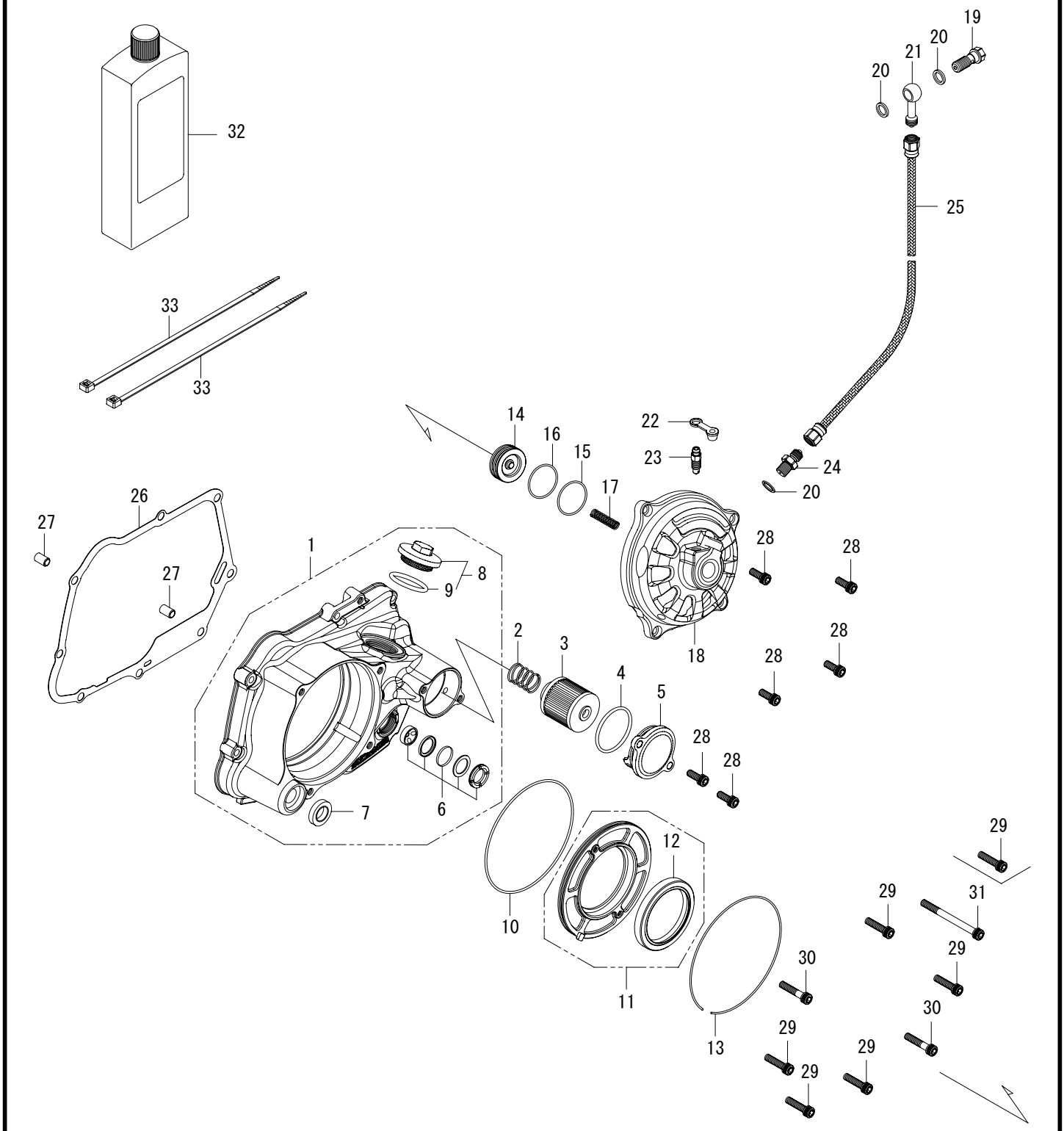
⚠ 警告　この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■技術、知識等が無い方は、作業を行わないで下さい。（部品破損等の原因により、転倒、事故につながる恐れがあります。）
■クラッチカバーの開口部からクラッチアウター等の回転部分を触れる事が出来ます。エンジン回転中は絶対に覗き込んだり、触れたりしないで下さい。
又、車両に乗られる場合は、足等を保護し、クラッチの回転部分に巻き込まれないような服装をして下さい。（転倒等の事故、ケガ、火傷の原因となります。）
■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。（事故につながる恐れがあります。）

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

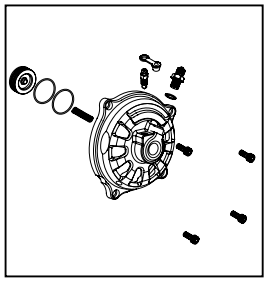
株式会社 スペシャルパーツ 武川
〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL http://www.takegawa.co.jp

製品内容



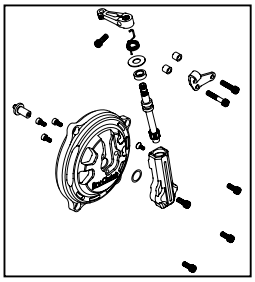
オプション部品

02-02-0087



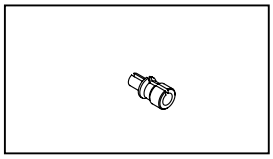
17 乾式クラッチカバー TYPE-R
（油圧式）
ワイヤー式から油圧式に変更や旧デザインカバーから変更する際に使用します。

02-02-0031

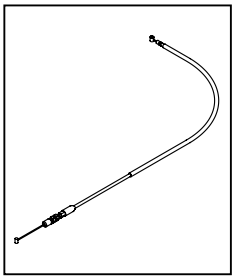


乾式クラッチカバー TYPE-R
（ワイヤー式）
油圧式からワイヤー式に変更や旧デザインカバーから変更する際に使用します。

00-02-0213

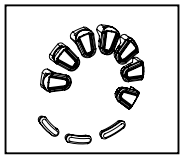


クラッチケーブルアダプター
ノーマルクラッチレバーにクラッチケーブル COMP. を取り付ける際に使用します。



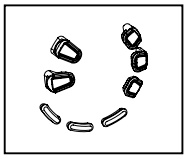
クラッチケーブル COMP.
730mm:00-02-0132
850mm:00-02-0133
910mm:00-02-0107

02-02-0079



キャップセット
（油圧式カバー用）
雨天走行や洗車時にクラッチカバーの開口部に取り付ける事で水の浸入を軽減します。
又、乾式クラッチ特有の騒音を和らげる効果があります。

02-02-0080



キャップセット
（ワイヤー式カバー用）
雨天走行や洗車時にクラッチカバーの開口部に取り付ける事で水の浸入を軽減します。
又、乾式クラッチ特有の騒音を和らげる効果があります。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

製品内容

番号	部品名	個数	リペア
1	R. クランクケースカバー ASSY.	1	00-00-1081 （バフ・クリア塗装） 00-02-0520 （シルバー塗装）
2	オイルフィルタースプリング	1	00-07-0065
3	オイルフィルターエレメント	1	00-02-0027
4	Oリング 40mm	1	00-02-0040
5	オイルフィルターカバー	1	00-00-1411
6	オイルポッドウインドウセット	1	00-02-0031
7	オイルシール 13.7x24x5	1	00-02-0032
8	タペットアジャスティングホールキャップ	1	09-06-0131（Oリング付）
9	Oリング 30mm	1	00-01-0034（4ヶ入り）
10	Oリング 112mm	1	00-02-0363
11	パーテンションプレート COMP.	1	――――――
12	オイルシール 54x70x9	1	00-02-0364
13	サークリップ（118x1.5）	1	00-00-1082
14	レリーズピストン	1	00-00-1094
15	Oリング 30mm（SBR）	1	00-00-0673
16	Oリング 30mm（NBR）	1	00-00-0674（4ヶ入り）
17	レリーズスプリング	1	00-00-1096
18	クラッチカバー	1	――――――
19	バンジョーボルト M10x1.25（ゴールド）	1	00-07-0131 （シーリングワッシャ付）
20	アルミシーリングワッシャ 10mm	3	00-07-0106（10ヶ入り）
21	バンジョーボルト（ストレート）	1	00-07-0006
22	ブリーダーキャップ	1	00-02-6212
23	ブリーダースクリュー	1	00-02-6213
24	アダプター 10mm	1	00-07-0032 （シーリングワッシャ付）
25	ブレーキホース（775mm）	1	00-06-0204
26	R. クランクケースカバーガスケット	1	00-01-0095
27	ノックピン 8x12	2	00-00-0153（2ヶ入り）
28	ソケットキャップスクリュー 6x15	6	00-00-0718（5ヶ入り）
29	ソケットキャップスクリュー 6x25	6	00-00-0722（5ヶ入り）
30	ソケットキャップスクリュー 6x30	2	00-00-0090（5ヶ入り）
31	ソケットキャップスクリュー 6x70	1	00-00-0730（5ヶ入り）
32	ブレーキフルード DOT4（200cc）	1	06-08-0019
33	結束バンド 200mm	2	00-00-0179（10ヶ入り）

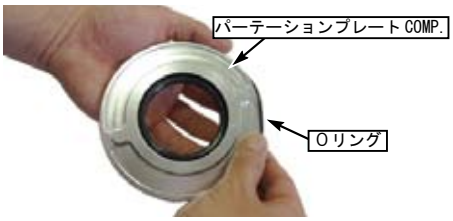
※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。
　尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいます様お願い致します。
※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

クラッチインナーキットの取説を参照し、プライマリードリブンギア ASSY. を取り付けて下さい。

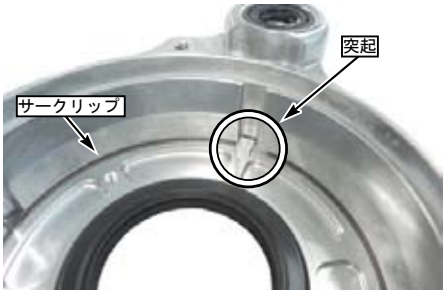
(R. クランクケースカバー取り付け)

○パーテーションプレート COMP. にOリング 112mm を組み付けます。

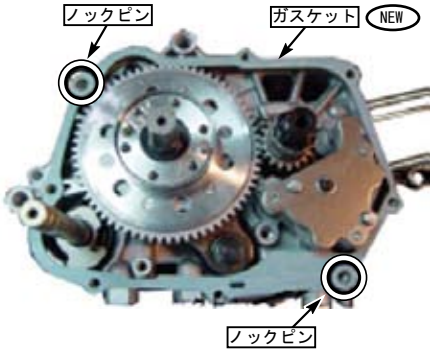


○パーテーションプレート COMP. の突起を R. クランクケースカバー ASSY. のキック側にある凹みに合わせ組み付けます。
※パーテーションプレート COMP. の“OUT SIDE”マーク面を外側にして真直ぐに組み付けて下さい。

○組み付けが完了すればサークリップの合い口隙間をパーテーションプレート COMP. の突起に合わせ、組み付けます。

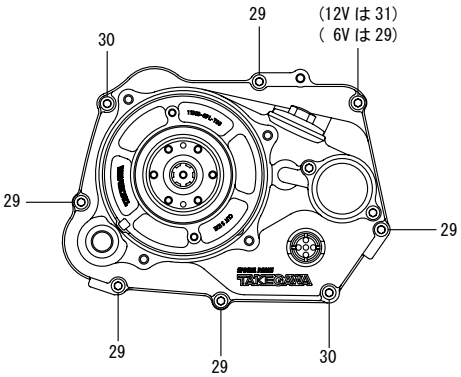


○ケース合わせ面を脱脂し、付属のノックピン 2本と R. クランクケースカバーガスケットをクランクケースに取り付けます。



○ R. クランクケースカバー COMP. のオイルシールとロックナットのオイルシールを傷つけない様に真直ぐにケースを入れます。
ソケットキャップスクリューでクランクケースに取り付け、ケース中央から外側へと対角に規定トルクで締め付けます。
※各ソケットキャップスクリューは部品番号で示しています。

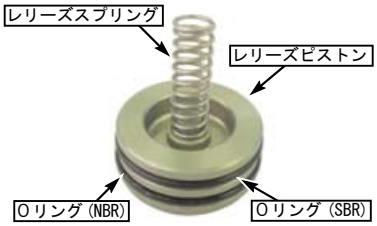
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：9.8N・m（1.0kgf・m）



クラッチインナーキットの取説を参照し、クラッチ本体を組み付けて下さい。

(クラッチカバーの取り付け)

○レリーズピストンにOリング 30mm(SBR/NBR) を組み付け、レリーズスプリングを組み付けます。
※Oリングにはラバーグリスを薄く塗布し馴染ませてから組み付けて下さい。
※Oリングにはそれぞれ取り付け位置があります。写真を参考にOリング（SBR）はブレーキフルード側に、Oリング（NBR）はクラッチ側に取り付けて下さい。

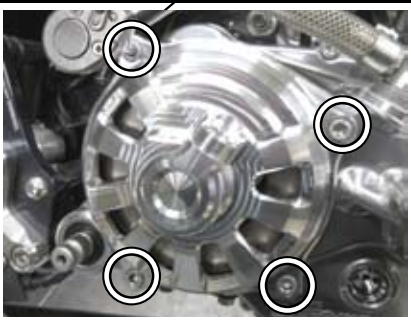


○組み付けたレリーズピストンをクラッチカバーに組み付けます。
※クラッチカバーのシリンダー側にもラバーグリスを薄く塗布し組み付けを行って下さい。
※ピストンをシリンダーに組み付ける際に無理やり組み付けるとOリングが損傷する為、確実に組み付けて下さい。

■取り付け要領　※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

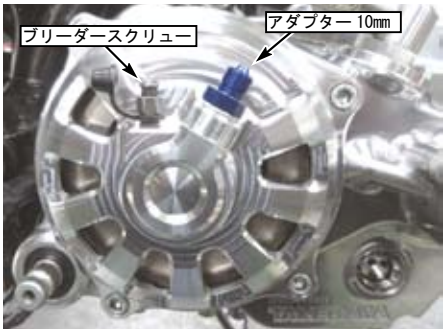
○クラッチカバーをR. クランクケースカバーに、しっかりとはめ込みソケットキャップスクリュー6x15で取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：9.8N・m（1.0kgf・m）



○ブリーダースクリューにブリーダーキャップを取り付けクラッチカバーに仮止めし、アルミシーリングワッシャ10mmにアダプター10mmを通し、クラッチカバーに取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
アダプター10mm
トルク：12.7N・m（1.3kgf・m）



○別売りのL. マスターシリンダーを付属の取扱説明書を参照の上、ハンドルに取り付けます。

○アダプター10mmにスパナを掛けた状態でブレーキホース（775mm）を取り付け、ホースフィッティングを規定トルクで締め付けます。ブレーキホース（775mm）をL. マスターシリンダーまで取り回し、アルミシーリングワッシャ10mm、バンジョー（ストレート）、アルミシーリングワッシャ10mmの順にバンジョーボルトM10x1.25（ゴールド）で取り付け、バンジョーボルトとホースフィッティングを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
バンジョーボルト
トルク：14.7N・m（1.5kgf・m）
ホースフィッティング
トルク：5.9N・m（0.6kgf・m）

（オイルフィルターカバーの取り付け）

○R. クランクケースカバーにオイルフィルタースプリングを入れ（ケースのボス部分にはまる様に入れて下さい。）、オイルフィルターを入れ、オイルフィルターカバーにOリング40mmを取り付け、エンジンオイルを薄く塗布します。ソケットキャップスクリュー6x15を取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：9.8N・m（1.0kgf・m）

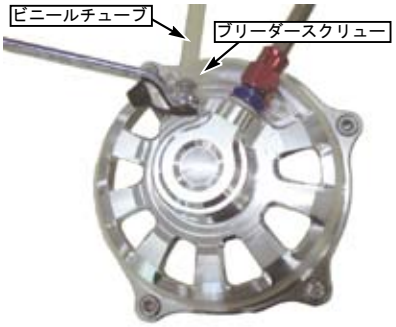
※オイルフィルターがオイルフィルターカバーの突起部にささるようにして下さい。
※オイルフィルタースプリングが、オイルフィルターの突起部内側に収まらないとオイルフィルターカバーとR. クランクケースカバーCOMP. との間に隙間が生じます。

○クランクケースを分解するために取り外した部品を、純正サービスマニュアルを参照し、その手順に従って取り付け、エンジンをフレームに取り付けます。
○エンジンをフレームより外した時に取り外した部品を、純正サービスマニュアルを参照し、その手順に従って取り付けます。

（ブレーキフルードの注入）

○L. マスターシリンダーのリザーバキャップを取り外し、ブリーダースクリュー、バンジョーボルトが締め付けられている事を確認し、リザーバの上限線までブレーキフルードを注入して、クラッチレバーを操作し、クラッチシステム内にブレーキフルードを満たします。この操作をリザーバ内のプライマリポートから気泡が出なくなるまで（クラッチレバーに重みを感じるまで）行います。
※化学変化を防止するため、異なった銘柄のフルードを混入させない事。
※ブレーキフルードは、塗装面を損傷させるので部品類に付着させない事。
付着した場合は水洗いを行って下さい。

○ブリーダースクリューにビニールチューブを取り付け、チューブの反対側に適当なカップ等で受ける様にします。クラッチレバー先端がハンドルグリップに当たるまで握り、ブリーダースクリューを約1/2回転緩め、再び締め付けクラッチレバーをゆっくり放し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。
※ブリーダースクリューを緩めた状態でレバーを戻さない事。
○ビニールチューブから気泡が出なくなるまでこの操作を繰り返します。
※マスターシリンダーカップ内のブレーキフルードに注意しながら作業を行い、下限線付近まで減少したら補充する。



○ブリーダースクリューを規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ブリーダースクリュー
トルク：7.8N・m（0.8kgf・m）

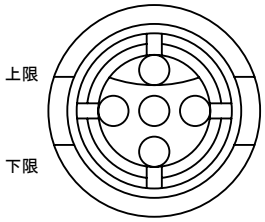
○エア抜きが終了したら、ブレーキフルードをリザーバの上限線まで補給し、ダイヤフラム、リザーバキャップを取り付けます。

（組み付け後）

○ドレンボルト｛T=21.6N・m(2.2kgf・m)｝が締め付けてある事を確認した後、エンジンオイルを注入し、ホールキャップにOリングを取り付け規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
トルク：11.8N・m（1.2kgf・m）

※ホールキャップのOリングに少量のエンジンオイルを塗布して下さい。
※オイル窓のオイル量は小まめに確認し、目安の値より下回っている場合は注ぎ足して下さい。



※クランクケース分解時のオイル目安量：約700cc
オイル交換時の目安量　　：約500cc

○エンジン停止状態でトランスミッションを1速にシフトしクラッチレバーを握ります。車両を動かした際、リアホイールが回転しクラッチレバーを放した状態でリアホイールが回転しない事を確認して下さい。
○トランスミッションがニュートラル状態でエンジンを始動し各部のオイル漏れを点検します。異常が無ければ安全な場所で低速度の走行テストを行い、クラッチの作動を確認して下さい。

⚠警告：エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。
密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）

◎この取扱説明書は弊社ホームページにPDFデーターでアップしております。
印刷では表記が読みにくい等ございましたら弊社ホームページにてダウンロードしご確認下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA